

1 令和5年4月1日から同年9月30日までの財政の状況

(1) 財政の動向

令和5年度の流山市一般会計歳入歳出予算総額は、856億1,300万円であり、令和4年度の730億1,000万円に比べ、126億300万円、約17.3%の増額となっている。

主な増額の要因としては、新設小学校（おおたかの森地区）建設事業や南流山中学校移転事業、子育て世代の人口増加に伴う子育て施策に関連する経費、高齢者や障害者に関連する施策等の増加により、教育費は前年度比56億7,760万3千円、民生費は前年度比19億5,579万1千円の増額となったことによるものである。

また、4月に原油価格・物価高騰対策として国の予備費を活用し、住民税非課税世帯に1世帯3万円の給付金と低所得の子育て世帯に児童1人当たり5万円の給付金を支給するための経費などを専決処分にて計上し、加えて6月に行われた流山市議会第2回定例会において、新型コロナウイルスワクチンの令和5年秋開始接種に係る経費などを新たに計上したほか、前年度からの繰越額を含めると、9月末の予算現額は929億9,460万2千円となっている。

なお、上期における予算現額を前年の9月末現在のものと比較すると、歳入では、市民税納税義務者の増加などに伴い市税は23億4,510万8千円の増額、新設小学校（おおたかの森地区）建設事業や南流山中学校移転事業などにより、その財源である地方債は53億9,550万円の増額となっている。

また、歳出においては、上記のほか、江戸川台駅東口周辺地区再整備事業及び初石駅施設整備事業などにより土木費が26億9,224万5千円増額しているほか、廃棄物処理施設延命化事業などにより衛生費が18億4,719万5千円増額となり、前年9月末現在と比べて148億2,019万7千円の増額となっている。

一般会計と特別会計の9月末現在の執行状況は（3）収入及び支出の概況のとおりである。